

同窓会会員数

(2011年4月現在)

旧高卒	2,043名
旧因島高校卒	15,206名
旧因島北高校卒	7,852名
因島高校卒	1,983名
計	27,084名

定時制・分校卒業者含む



広島県立
因島高等学校
同窓会報

2012年1月30日発行

発行者 広島県立因島高等学校同窓会
会長 岡野鉄春
事務局 尾道市因島重井町5574
(因島高等学校内)
電話(0845)24-1281
FAX(0845)24-3585

<http://0845.boo.jp/doso/>

謹賀新年

平成24年



因島大橋に昇る朝日

あけましておめでとうございます

因島高校同窓会会长 岡野鉄春



同窓会のみなさん新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様にとって希望に満ちた年でありますよう、心からお祈りいたします。

昨年は、東日本大震災による未曾有の大災害と福島第一原発による放射能汚染により、今もなお多くの方が避難生活をされておられ、改めて心からお見舞い申し上げます。

また、昨年は因島高校同窓会創立90周年の記念式典を皆様のご協力により、盛大に行うことができありがとうございました。本年は100周年にむけての第一歩となる年であり、今後10年間をかけて財政基盤の強化などをしまいりたいと考えています。昨年の総会には終身会費

という形で一万円の納入をお願いしているところです。多くの会員の皆様から納入していただき感謝申し上げます。今後も皆様のご協力をよろしくお願いします。

さて、因島高校は私たちが通っていた頃から比べると随分生徒数も少なくなりましたが、グランドにある掲示板には常に生徒の活躍を示す掲示物があり、学校の前を通過するときは楽しみに見ながら通っています。

同窓会長として、「課題研究」発表会や体育大会を見学する機会がありました。生徒のはつらつとした行動に感心したところです。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、今後とも同窓会の活動に対してのご理解ご協力をお願いし新年にあたっての挨拶といたします。

因島高校同窓会のホームページを開設しています。<http://0845.boo.jp/doso/>

明けまして おめでとうございます

広島県立因島高等学校 校長 古川正徳



平素母校因島高校にお寄せいただいているお心遣いに感謝申し上げます。平成24年の幕開けは因島高校として創立92目の年に当たります。くしくも干支は「龍」。とりあえずのエポックを100周年と定め、学校總体として昇龍のごとき飛躍の1年になるよう取り組みを強化し、精度を高めて参りますので変わらぬご支援のほどよろしくお願ひいたします。

さて、昨年、私たちは東日本大震災により多数の尊い人命が奪われるなど、未曾有の大惨事を経験しました。犠牲になられた方々のご冥福と一日も早い復興とを願うばかりですが、この経験を通して多くの人が真剣に物事を考え始めたことも事実です。例えばそれは「自然と人間の関わり」、「豊かさとは」、「原発の要、不要」、「日本人のすばらしさ」「教育の大切さ」、「人生いかに生くべきか」「幸せってどういうことだろう」等々であろうかと思います。その中で親子、夫婦、友人を始めとする人間の「絆」について深く思いを巡らした方もきっと沢山いらっしゃったに違いありません。かく言う私もその一人です。

人間はアリストテレスの言う「社会的動物」であり、一人では生きられません。多くの人に助けられ支えられて、今日こうして「在る」ということを自覚的に認識しなければなりません。そうすれば周りの人々への「感謝」の念と、公私両面において紐帶—「絆」—を結ぶことの大切さがきっと見えてくると思います。

正月に実施された箱根駅伝。完全優勝を果たした東洋大の頑張りは称賛に値しましたし、地元出身の鎧坂選手の走りも実に見事なものでした。しかし、私にそれ以上とも言える強烈な印象を与えたものがありました。それは往路最終区、芦ノ湖で体調不良をおして意地でゴールインした東農大の選手や、復路での中継点手前で意識朦朧となりながら、何度も転びながら、おそらく無意識のうちに次のランナーに襷をつないだ神奈川大の選手でした。目頭が熱くなりました。実に感動的ありました。勝敗とは別の角度から心の中で「頑張れ！」とのエールを贈られた方も大勢いらっしゃったに違いありません。これがマラソンのような個人競技だったら、はたしてあれほどの鬼気迫る行動となっていたかどうか。私は難しいのではないかと思います。

チームメートとの繋がり—「絆」—への熱い思いと組織の構成員としての責任感の強さとが見るものをして感動せしめたのだと思います。同時に人は繋がりを強く意識することによって、個人の能力や利害得失を超

えて、想定外の力を發揮できることを教えてくれたと思っています。

この1年、「点から線へ」「内を固めて外に打って出る」を合い言葉に学校経営に精励します。併せて同窓会の益々のご発展、同窓生の皆様のご健勝、皆様同士の「絆」が一層堅固なものとなりますことを祈念し年頭のご挨拶とします。



(平成23年7月～)

全日制

○球技大会

7月13日(水)に夏季球技大会を実施しました。梅雨も明けて、猛暑のなか、健康面に気を遣いながらの戦いでしたが、どのチームも熱戦を繰り広げました。

結果は次の通りです。

	男子	女子
優勝	3年2組 B	3年2組 D
2位	3年3組 A	3年1組 D
3位	2年2組 A	2年1組 E

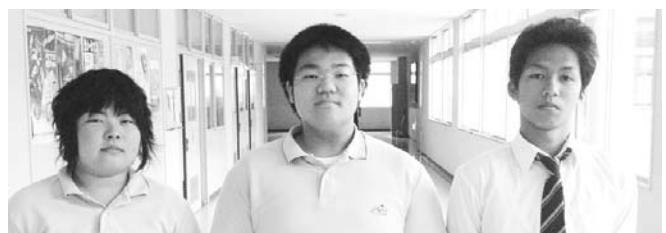


○生徒会新役員

7月20日(水)1学期の終業式が行われたその日に、生徒会役員選挙が行われました。11名の立候補があり、生徒会新役員として決定しました。

会長、副会長は次の通りです。

会長 小林 昌玄(2年)
副会長 徳本 花帆(2年) 四辻 誠也(2年)



○オープンスクール開催

8月25日(木)午前に、オープンを実施しました。中学3年生160名とその保護者31名の合計191名と引率教職員が参加しました。



○2年インターンシップ

夏休みに2年生の希望者(看護系は3年生も含む)35名が8ヶ所の事業所でインターンシップ(職業体験)を実施しました(病院は「1日看護体験」)。

ご協力いただいた事業所のみなさま(順不同)
因島鉄工株 松愛堂 因島医師会病院 因島総合病院
田熊保育所 あおかげ苑
ユーホー因島店 尾道税務署



○水軍祭り

8月28日(日)に行われた小早レースにおいて、因島高校の女子チーム「飛海(トビウオ)」がレディースの部で第2位となりました。



○合同芸術鑑賞

9月2日(金)、瀬戸田ベルカントホールにて、岡山フィルハーモニック管弦楽団を招いて、瀬戸田高校との合同芸術鑑賞会を開催しました。

曲目はヴィヴァルディの「四季」や、モーツアルトの「フルート協奏曲」などでした。



○体育大会

10月1日(土)前日の大雨で心配した天気も持ち直し、秋晴れの下で因島高校の体育大会を挙行しました。

結果は次の通りです。

総合優勝 3年生

クラス対抗スウェーデンリレー

1位／3年4組 2位／2年2組 3位／1年1組

学年対抗リレー 優勝 3年

着付け競争(参加は3年のみ) 最優秀賞 3年3組



○全校読書会

10月28日(金)に全校読書会として、橋本和子・原田恵子・村上晶さんら3人の講師を招き、読み聞かせを体育館で行いました。

○アストロツアーア

11月4日(金)にPTA行事の「星空散歩アストロツアーア」が行われ、95名の小中学生と保護者が参加しました。



○1年生上級学校訪問

1年生が、11月7日(月)に、広島大学・福山市立大学・福山職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ)・尾道福祉専門学校・穴吹情報デザイン専門学校・穴吹調理製菓専門学校などのコースに分かれて上級学校を訪問しました。





○課題研究発表会

11月14日(月)に、課題研究の発表会がありました。3年生が、テーマを決めて1学期から取り組んできた研究の成果として、16テーマの内容で報告が行われました。



⑦ オープンスクール・公開研究授業 11/2(水)



⑧ 文化祭 11/25(金)



因島高等学校定時制課程 7月以降の行事

① 学校訪問 7/9(土)



② 火災避難訓練 7/13(水)



③ デイキャンプ 7/16(土)



④ 卒業生体験報告会 8/26(金)



⑤ 合同運動会 10/2(日)



⑥ 修学旅行 10/19(水)～21(金)





東京支部

東京支部長 岡野 徹 (S33年卒)

昨年1月の東京支部総会は総勢260人もの参加者で盛大な会になりました。

尾道市の4高校（北・東・商業と因島）が同窓会にはお互いが参加しようということになり、先日はじめて北高同窓会楨峰会（まきがみね）に来賓として参加しましたが、われわれの会もなかなかのものだとあらためて感じました。

6月の関西支部の総会には東京支部からも主要メンバーが参加、私は記念講演もしました。新支部長の村上福造君が同級生でもあり、その要請で昨年発刊した自分史

「恒心を求めて」のタイトルで話をしました。東日本大震災に遭いながらの、冷静に対処し世界から絶賛された東北の人々に思いを馳せながら、力を合わせ困難を乗り切ろうと呼びかけました。私の本の即売会もありお金は

「釜石シーウエイブス」に義捐カンパし、現在、因島高校同窓会はこのチームのサポーターになっています。全日本ラグビー7連覇で名高い新日鉄の後継チームで、震災でグランド、クラブハウスを流されたそうです。かつてスポーツ界のライバルとして目標にし、その結果、元旦のニューカー駅伝6連覇を2回達成出来た旭化成陸上部の元部長としては他人事ではなく「北の鉄人に南のカセイ人からエールを送る。」とサインした自分史も同封し、復活を祈念しました。



上京の中西さん受賞祝いに集まった33年卒同級生、前列中央が中西さん 2012.1.23(半蔵門ダイヤモンドホテル)

昨年のビッグニュースとしては東西の私の女性同窓生が2人、あいついで文部科学大臣賞に輝く快挙がありました。一人は33年卒の私の同級生、関西支部副支部長の中西智佐子さん、文化書道展でその栄誉に輝きました。もう一人は東京支部特別顧問の金山桂子さんで、日展洋画部門で受賞されました。

昨年夏の中西さんの受賞時と新年の上京時には大挙してお祝いし金山さんの受賞の際にも展覧会場に集まり鑑賞、さらに「尾道サポーターの会」では、中空前支部長をはじめ同窓生でお祝いしました。

在校生達が、この先輩達の活躍に刺激を受けてくれるといいなと思います。

最後に、今年は広島支部の総会の年ですが、われわれ33年卒者は、前日に広島で全国同窓会を開催し、そのまま翌日大挙して総会になだれ込もうと計画中です。



尾道サポーターの会で金山桂子さんを囲んで因島高校同窓生が記念撮影



仮設クラブハウスで義捐金と
私の自分史を持つ、
釜石シーウエイブスの
増田事務局長

関西支部

新たなる絆の構築をめざして

関西支部長 村上 福造 (S33年卒)
同事務局長 村上 晋 (S40年卒)

因島高校同窓会の皆様、爽やかな希望に満ちた初春をお迎えのことと存じお慶び申し上げます。昨年の第12回関西支部総会には、本部、各支部の絶大なるご支援ご協力を賜わり、会場(ホテルオークラ神戸)に相応しい絢爛豪華で大変意義深く友情と信頼を紡ぐ総会が出来ましたこと、改めてお礼申し上げます。総会の写真発送も、新事務局長のテキパキとした采配により恙無く終了しました。

さる12月4日、丸ビルで例年通りの役員会を兼ねた反省会、会計報告と忘年会を開催致しました。まず、過日因島のホテルみやじまで行われた本部、支部役員懇談会の各懸案事項了承の旨を報告しました。関西支部多くの方々の温かい淨財により無事に明朗な収支報告が出来ましたこと、心より感謝申し上げます。今後の活動方針や、より一層の親睦を深めるために各自の意見、近況報告と同窓会報の終身会費は同窓会報発行のみならず、因島の最高学府たる母校の支援の一環である事の説明と振り込み状況を確認。和気藹藹とした意見交換をしてお開きとなりました。(丸ビルは同窓生の岡野正信さん「45年卒」が専務として、お勤めです。梅田で交通の便もよくとても好感のもてる、行き届いたサービスをして頂けます。)

来る2月19日(日)に関西支部は、恒例のひと月遅い新年会を京都の新阪急ホテルで開催致します。まず靈感あらたかな八坂神社に初詣し同窓生各位の今年の幸せと健康そして同窓会発展と母校の益々の躍進を祈念いたします。その後、新年会では友情と親睦を図るため、同好会の立ち上げを提案したいと思っています。以前は日帰りバスツアーやテニス、ゴルフ、コーラス等ありましたが自然消滅しましたので、リーダーに負担の掛からない、楽しめる同好会にしたいと思います。故郷因島は天才棋士、本因坊秀策の生誕の地でもあり、新たに囲碁クラブを新設できたらと考えています。

今年は、広島県ゆかりの大河ドラマ平清盛が好評のうちに放映されています。グットタイミングで、10月21日(日)には広島支部総会が開催されます。我々33年卒は、広島支部支援と歴史探訪を兼ねて、宮島で同期会を致します。私たち古希を過ぎると、残念ながらかなりの方々が黄泉へと旅立たれました。ともに学窓生活を謳歌した当時を偲びつつ青春プレイバックします。各学年の有志の皆様、同窓の交流と幽玄な厳島神社とそれに拘わる人々に想いを馳せて、広島で銳気を養っては如何でしょうか。さて5月20日に近畿広島県人会のふる里ふれあいまつりが御座います。同窓協議会(広島県の高校同窓会尾道商業、如水館他15校)の一員として今迄は肩身の狭い

思いで出席していましたが、郷土、学校、教育関係の皆様の弛まぬご尽力により、進学率や学力の向上、就職率100パーセント、さらに最近の湊かなえさんの輝かしい活躍により胸をはってこれからは参加できます。(感謝)

ところで昨年は私達、関西支部には朗報がありました。それは副支部長の中西智佐子(雅号翠景)さんが、永年に亘り書道会の指導者として活躍し、その優れた作品と才徳、貢献が認められ文部科学大臣賞を受賞されました。東京で授賞式があり多くの同期生や友人、知人がお祝いに駆け付けました。

新年にあたり因島高等学校同窓会、因島高校の搖ぎ無い進歩発展をお祈り申し上げます。



関西同窓協議会新年会副支部長村上忠弘氏



本部総会



受賞作品の前で東京支部長岡野徹夫妻

広島支部

広島支部長 小林 章三 (S40年卒)



みなさん明けましておめでとうございます。

前号でも触れましたが、昨年は東北大震災で地震、津波、原発まさにトリプル災害。いまだ行方不明の方、この時期寒い中、仮設住宅での生活、改めてお見舞い申し上げます。

そんな中一光を指してくれたのが、なでしこJAPAN！日本の女子力まさに劣勢を跳ね飛ばし、同点から奇跡のPK戦。勇気と感動を与えてくれました。いずれも「同窓会」同様「絆」を強く感じるところです。

さて支部の活動状況ですが、10月29、30日と「秋のふるさと巡り」として因島組と合流して、因島外浦町の本因坊秀策記念会館～重井のフラワーセンター～フラワーライン～三庄に抜ける水軍スカイライン～因島大橋一望～新設ホテルいんのしま(旧因島ロッジ昼食)。ほぼ因島を一周。あと生口大橋を渡って、瀬戸田へ。皇船荘という民宿で気勢を上げ、みんなで童心に帰って、夜の更けるのも忘れてトランプをした。翌日は耕三寺へお参り。

何時ごろできたのか裏山に総大理石でできた「未来心の丘」に登り、帰りはベルカントホール、定番の平山郁夫美術館をみて一路広島へ。結構ふるさともいろいろ新名所ができてあります。

月一ですが、ほぼ定着した囲碁同好会、パソコン教室も順調に会を重ねております。いずれも素人集団ですので、お気軽にお越しください。パソコン教室では最近無料テレビ電話「SKYPE」を使って会員相互のコミュニケーションツールにしています。

さて今年は、広島支部総会の年。龍にちなんで金竜踊る、さらなる飛躍の年にと意気込んでおります。(10月21日(日)、ホテルグランピア広島です)

幸い33年卒、同期の40年卒の方々が総会の前後同期会をやろうと言つて戴いています。

支部としては願ったり叶つたりでほかにも予定があれば大歓迎です。現地としての段取り付けはお任せください。

初めての会場なので、昨年の支部忘年会は試食と下見を兼ね二次会の系列「駅カラ」も試してみました。広島の新幹線口のJR系の立派なホテルです。その節皆様のご支援、ご協力をお願いする次第です。

最後になりましたが2月4日(土)は遅ればせながらの新年会です。本部からも会長、事務局長ほか来ていただけるよう日頃からの「FACE TO FACE」を大事にしてゆきたいと思っております。

どうぞ一度インターネットの因島高校同窓会広島支部の「ホームページ」をご覧いただければ幸いです。宜しくお願ひします。

URLは<http://www21.ocn.ne.jp/~innosima/>です。





〔2011年度同窓会を終えて〕

2011年度因島高校同窓会実行委員会

実行委員長 多田 宣夫



明けましておめでとうございます。

昨年は、2011年度同窓会総会を開催するにあたり、同窓会役員の皆様をはじめ、現因島高校の先生方のご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。また、運営に携わった同期生の皆様方、本当にありがとうございました。

計画を立てる段階では、不安や心配事であたふたしましたが、同期生が集まり、一つの目標に向かって準備をすすめることができ、終わってみると、達成感があり楽しかったと思えます。

このような機会を与えていただいたことに感謝申し上げるとともに、同窓会の今後のご発展を祈念申し上げます。新しい岡野鉄春会長のもとがんばりましょう。

ありがとうございました。



本部・支部役員会を開催し、 同窓会運営などについて意見を交換。

去る、10月22日(土)ホテルみやじまの会議室において、本部=会長・副会長・事務長、関西支部=村上福造支部長、広島支部=小林章三支部長・松浦利幸事務局長(東京支部は都合により欠席)が出席して開催されました。

役員会は、本部、各支部から報告を受けた後、①各支部の役員改選、②終身会費(10,000円)の納入状況、③同窓会役員(常任委員)への就任意思確認、④同窓会データーの管理、などについて意見交換を行いました。

参加者から「インターネットの活用策」「ホームページの内容充実」などについて、要望意見がありました。



本部役員懇談会を開催し、 総会運営・行事の実施などに ついて意見交換を行う。

去る、1月14日(土)ホテルみやじまの会議室において、本部役員=会長・副会長・事務局、顧問の各メンバーが出席して開催されました。

懇談会では、総会の開催日や会費金額・運営内容、入場券の販売方法などについて意見交換を行うとともに、10,000円の終身会費をいただくことになっての交流行事実施に伴う費用面の考え方、常任委員に就任いただくにあたっての意思確認などについて意見交換を行いました。

①8月15日に総会を開催すべく当番回生と調整を行う、②終身会費をいただいた方の氏名を会報誌に掲載し、入金者に会報誌を届ける、③メンバーが交流できる行事を企画・運営する、④常任委員の氏名を確認・整理するための作業を3月までに行い、常任委員会を開催することを確認しました。



内海造船田熊工場が閉鎖。 工場跡地の一部は、 ショッピングモール施設に

因島地域の代表企業である内海造船(株)は、瀬戸田、因島、田熊の3工場のうち、因島田熊町にある「田熊工場」を3月末をもって閉鎖すると発表しました。

田熊工場は、1938年に稼働し、内航船を中心に小型客船、フェリー、貨物船の建造と高速船をはじめ、客船、フェリー、特殊船などの修理も行ってきました。

橋が架かったことによって、瀬戸内海の島々の輸送手段は、海上・船輸送からトラック輸送へと替わり、これまで建造・修理を行ってきた船の需要が少なくなっていました。田熊工場の従業員は、生口島にある瀬戸田工場にすでに移動して勤務されています。

工場敷地約6万平方㍍の内、東側の借地部分約2万平㍍は地権者に返されており、その跡地は、11月に24時間営業の大型ディスカントストア、日曜雑貨スーパーなどのショッピングモール施設がオープンする予定になっています。



しまなみ海道」6つの橋を自転車で渡る 『しまなみアイランドライド』に2100人。

昨年9月、しまなみ海道(尾道=今治間全長70キロ)を舞台に自転車に跨り島々を訪れる『しまなみアイランドライド』に、昨年より400人多い、2100人が参加しました。

多島美を誇る尾道=今治間の道路沿い6か所には、ボランティア団体の運営する休憩所が設置され、サイクリストを後押ししました。



しまなみ海道には、『自転車街道』としてコースに「ブルーライン」が引かれ、地図がなくても走ることができ、尾道や今治までの距離が記載され、周辺の橋や主要な観光施設の方向と距離などが示された「案内看板」も設置されており、健康と観光が同時に楽しめるようになっています。

1日=500円のレンタル自転車(電動アシストもあるよ)も用意されており、貴方も、環境に配慮したエコレジャー“サイクリング”を「しまなみ海道」でチャレンジしてみてください。



本因坊秀策碁碁記念館に ぜひ一度ご来場を!!

記念館は、江戸時代に活躍し、今も碁聖と仰がれる天才棋士「本因坊秀策」を顕彰し、「囲碁」に関する資料を展示する施設として、平成20年9月、秀策生誕の地に開館しました。

館内には、秀策ゆかりの品々や、囲碁に関する資料を展示する「囲碁資料館」と、秀策の生まれ育った環境を再現した「秀策生家」があり、碁聖本因坊秀策の人柄にふれていただくとともに、囲碁の歴史・文化を広く紹介しています。



第1・3土曜日に
初心者囲碁教室、
その他の土曜日と
毎週木曜日に囲碁
教室を開催してい
ます。
お気軽に、ご参加
下さい。
館長 木村修二

- 所在地：広島県尾道市因島外浦町121-1
- 開館時間：午前10～午後5時（入館：4時30分まで）
- 休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）
- 入館料：大人300円(団体20人以上240円)、中学生以下無料
TEL・FAX0845-24-3715

終身会費納入者名簿

平成24年1月25日現在

平成23年度の総会において、同窓会運営のため終身会費を10,000円とする会則の変更が行われました。

趣旨に賛同し会費納入をして下さった方々を、長く会報誌に掲載し御礼といたします。ありがとうございました。

氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度
森 春子	(昭17)	宮地 敏子	(昭31)	田口 美子	(昭37)	土井川恵子	(昭41)	大山千砂子	(昭47)
柏原 初音	(昭21)	村田 弘江	(昭31)	竹嶋 恭子	(昭37)	中津ハナエ	(昭41)	麓 博己	(昭47)
水岡登喜代	(昭21)	秋山 義朗	(昭32)	山形 慎子	(昭37)	榎谷 雄三	(昭41)	松浦 利幸	(昭47)
古江登喜子	(昭22)	今治 孝之	(昭32)	胡本 實	(昭38)	松浦 曜美	(昭41)	三木 浩二	(昭47)
石田 真	(昭25)	小川 隆子	(昭32)	岡野 直樹	(昭38)	松原 朝雄	(昭41)	宮地 崇行	(昭47)
大石和三郎	(昭25)	村上 真子	(昭32)	折野 晴子	(昭38)	松原るみ子	(昭41)	村上敬之介	(昭47)
長谷部利朗	(昭25)	村上 喜武	(昭32)	河井 實	(昭38)	村上 克己	(昭41)	村上 隆志	(昭47)
原 真事	(昭25)	安達 幸子	(昭33)	小林千寿恵	(昭38)	稻垣真理子	(昭42)	小林 正子	(昭49)
四辻 玄也	(昭25)	大出 博	(昭33)	白石 桂子	(昭38)	岡野 鉄春	(昭42)	泉 久美子	(昭50)
柏原 邦詳	(昭26)	岡野 澄子	(昭33)	橋本 俊隆	(昭38)	柏原太久男	(昭42)	岡野 正剛	(昭50)
田頭 猪市	(昭26)	岡野 達郎	(昭33)	藤井 鎮一	(昭38)	近 佳代	(昭42)	岡野 隆一	(昭50)
原山 晃	(昭26)	岡野 征治	(昭33)	中山 隆弘	(昭38)	中郷 俊五	(昭42)	西島 祐一	(昭50)
道原 伸司	(昭26)	河林 操	(昭33)	荒田 幸子	(昭39)	宮川 正博	(昭42)	山路 修身	(昭50)
大沼 泰子	(昭27)	佐々木幸子	(昭33)	胡本理智子	(昭39)	宮地 秀訓	(昭42)	石田 博彦	(昭51)
岡野 英司	(昭27)	豊原 幹子	(昭33)	大場 謙吉	(昭39)	村上 寛治	(昭42)	滝本 秀明	(昭51)
金山 桂子	(昭27)	中辻美津子	(昭33)	岡本 和彦	(昭39)	村上 孝三	(昭42)	山本 教子	(昭51)
楳 將	(昭27)	中西智佐子	(昭33)	岡田 一司	(昭39)	山田眞由美	(昭42)	池本 公亮	(昭52)
村上 敏明	(昭27)	藤木ムツコ	(昭33)	友田 誠子	(昭39)	弓場 常正	(昭42)	松浦 里美	(昭52)
村上 守孝	(昭27)	村上 福造	(昭33)	松尾惠津子	(昭39)	江嶋 昭吉	(昭43)	惠民 上枝	(昭53)
山本華應里	(昭27)	山根 由則	(昭33)	村田 積穂	(昭39)	柏原 陽子	(昭43)	香川 一紀	(昭53)
湯木 玲子	(昭27)	柏原トヨコ	(昭34)	弓場美津子	(昭39)	松田 真弓	(昭43)	小林 一三	(昭53)
大出 徳七	(昭28)	桑原 崇哲	(昭34)	井口 貴代	(昭40)	松村 重子	(昭43)	佐橋 千春	(昭53)
田頭誠治郎	(昭28)	定成 昭義	(昭34)	大出 幾造	(昭40)	村上 富男	(昭43)	石井 史枝	(昭54)
岡野 幸由	(昭29)	田頭 弘美	(昭34)	大出 祐二	(昭40)	柳沢ゆきひこ	(昭43)	杉本 礼子	(昭54)
佐藤千鶴子	(昭29)	藤井 菊延	(昭34)	小江 章	(昭40)	岡野 勝則	(昭44)	田頭 善郎	(昭54)
須永貴美子	(昭29)	村上 公夫	(昭34)	小沢 直美	(昭40)	岡野 憲明	(昭44)	村上 洋恵	(昭55)
高谷 卓兒	(昭29)	村上千代子	(昭34)	柏原 賢祥	(昭40)	木村 修二	(昭44)	村上 正明	(昭55)
村上 節子	(昭29)	村上 安弘	(昭34)	柏原 輝男	(昭40)	小山 秀子	(昭44)	秦 裕美	(昭56)
若林 昭夫	(昭29)	村上 良一	(昭34)	河崎 積	(昭40)	相方 秀文	(昭44)	焼家 敦朗	(昭57)
岡 溢子	(昭30)	山崎 利一	(昭34)	木曾 啓之	(昭40)	宮地 聖二	(昭44)	木戸 一男	(昭58)
岡野代江美	(昭30)	秋重 和子	(昭35)	熊倉 公子	(昭40)	村上 元信	(昭44)	曾我部 正	(昭58)
嶋 康恵	(昭30)	大竹キミ子	(昭35)	後藤 静江	(昭40)	岡田 雅弘	(昭45)	濱田 佳宏	(昭59)
幡地 森政	(昭30)	大出 武郎	(昭35)	小林 章三	(昭40)	林 康男	(昭45)	松浦 正信	(昭59)
楳 善高	(昭30)	日下 享子	(昭35)	笠垣 保男	(昭40)	村田 幸治	(昭45)	川野 良泰	(昭61)
巻幡 敏秋	(昭30)	正路 怜子	(昭35)	高橋 甫	(昭40)	村田 理恵	(昭45)	佐々木園子	(昭61)
万福 須美	(昭30)	新庄 啓三	(昭35)	田中 恭子	(昭40)	岡野 敏江	(昭46)	吉本 嘉代	(昭62)
青山 義彦	(昭31)	関野寿美子	(昭35)	永井 四郎	(昭40)	木曾ヒロ子	(昭46)	伊東 満子	(平1)
大久保絹枝	(昭31)	橋本 博子	(昭35)	西部 晃	(昭40)	木原 昌夫	(昭46)	小林 徹伸	(平1)
大森 義弘	(昭31)	花岡 孝弘	(昭35)	星野 典子	(昭40)	米内 敏子	(昭46)	山下 榮子	(平15)
岡野貴美子	(昭31)	巻幡 如水	(昭35)	村井 弘明	(昭40)	丹所 瞳美	(昭46)	田頭 寿郎	(平23)
柏原 伸	(昭31)	湊 俊郎	(昭35)	村上 弘二	(昭40)	榎本 清文	(昭47)		
金山 功男	(昭31)	村上 瞳子	(昭35)	村上 正二	(昭40)				
川道 治雄	(昭31)	村上 雄蔵	(昭35)	村上 晋	(昭40)				
木曾 清子	(昭31)	吉田 尚徳	(昭35)	村上 徳明	(昭40)				
木村 伸子	(昭31)	里田真規子	(昭36)	村上 吉見	(昭40)				
木村 悠治	(昭31)	田窪 宏臣	(昭36)	森本 真理	(昭40)				
竹中 啓修	(昭31)	寺西 重郎	(昭36)	荒木 博幸	(昭41)				
土居 通彦	(昭31)	楳 国明	(昭36)	小川多嘉子	(昭41)				
鳥田 佳子	(昭31)	丸本 禮子	(昭36)	堅田 玲子	(昭41)				
中居 憲吾	(昭31)	村上 浩	(昭36)	金山 政輝	(昭41)				
藤井松太郎	(昭31)	柏原 正氣	(昭37)	金田 保香	(昭41)				
麓 實	(昭31)	酒井 健次	(昭37)	公文 宏麿	(昭41)				

ご寄付ありがとうございました。

小江 章(S40年卒)様より

供養のため 60,000円

峯松 良成(S29年卒)のご家族様より

供養のため 5,000円

佐々木幸子(S33年卒)様より

同窓会運営に 100,000円

本部からの お願い

母校、因島高等学校へ 終身会費の隨時納入を!

同窓会会員の皆さんへ

平成23年度総会において、同窓会運営のため終身会費を10,000円とする会則の変更を行いました。

それに伴い、全卒業生に終身会費の納入をお願いしております。

まだ、終身会費制度が周知されていない事もあり振り込みも少しづつの状況ですが、郵便振替でお手数をおかけしますが、母校同窓会の発展のために、何とぞよろしくお願ひします。

当番回生になった年と還暦になった年に、それぞれ5,000円づつ分割で払っていただきてもいいのですが、出来るだけ早い時期に、一括で10,000円を払っていただけるようお願ひします。

今後、同窓会の充実活性化のため諸行事を積み重ねていくつもりです。是非皆様方のご理解とご協力をいただきまして、終身会費の振込みをお願いいたします。

振込み用紙は、事務局及び因島高校に用意しています。

連絡先 事務局長 木村修二 尾道市因島土生町812

電話 090-4146-9887

※機関紙など印刷・送付を一括でお願いしている関係上、確認はしておりますが
振込み依頼が再送されました同窓生の方にはお詫び申し上げます。

払込取扱票										通常払込料金 加入者負担					
02										金額	料金				
0	1	3	3	0	4	1	8	0	1	3	3	0	4	1	8
因島高等学校同窓会										料金	料金				
振替払込請求書兼受領証										料金	料金				
01 3304 1094118										料金	料金				
因島高等学校同窓会										料金	料金				
平成23年度から終身会費10,000円の随时納入をお願いするものです。 ただし、当番回生にあたる41歳と還暦にあたる60歳になった時に5,000円づつの分割も可 能です。 ■昭和・平成 年3月卒 全日・定期 ■土生高女・土生高・因北分校・機械科・旧因高・北高・因島高校										料金	料金				
(ご連絡先電話番号) 画面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行 これより下欄には何も記入しないでください。)										料金	料金				
										印	印				
										印	印				

払込みのご注意

おとこ(郵便番号)・おなまえ、電話番号
卒業年、卒業校をお忘れなく
※卒業年が不確定な時は数字に○をして下さい。
大正・昭和・平成 45年3月卒

会報誌の有料購読は別会計として引き続き、振り込みを受け付けております。



瀬戸内海の小島にもヨーロッパ経済の金融不況の津波が押し寄せてきた。

海運業を中心に商いをしてきたせいだろうか、それともグローバル化が進んできたせいだろうか。

今年の卒業生98名の進路は、4年生大学への進学が1/3、専門学校への進学が1/3強、就職が1/3弱と聞く。その中で地元就職が50%程度だそうだ。一時、Uターン就職者の採用を積極的に行ってきただけでなく、「新卒採用」にこだわりを持ち始めている。『鉄は熱いうちに打て!』の言われ通り、新人からの教育に、人づくりに目覚め始めている。

まさに企業は人なりの原点だ。

在校生の活躍が同窓会が寄贈した掲示板に横断幕として次々掲げられ、着々と成長し続いている姿を見ることができ、実に楽しい。

生徒数は減少しているが、将来を見たとき、地域の発展のためには地域で根を張る母校生徒のスケールアップは欠かせない。島々を支える地域の学校として、地域に支えられ、大きく育つことを願っている。

事務局だより

同窓生の皆さん、清々しい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

今年は、辰年、龍は世を変える力をもっていると言われています。今の日本を変えていく、また因島高校同窓会も大事な年になると思います。

龍といえば、今年9月末まで本因坊秀策碁記念館には、「九頭龍の宇宙」という砂絵が展示されています。この砂絵は、目が不自由な方でも、指先の感触で鑑賞することができます。心眼が開いてる人なら誰にでも伝わる絵だと思います。

囲碁史に残る妙手「耳赤の一手」を題材にして描かれていて、秀策の碁を九頭龍で表現したものです。同窓生の皆さん是非一度、ご鑑賞することをおすすめいたします。

さて、今年の因島高校同窓会は、龍の年にあやかり、寄る年波を蹴散らして若返りを図りましょう。特に、常任委員会の役割が大事だと考えていますので、一緒に汗をかきましょう。知恵はないが、聞く耳を持っている事務局に、忌憚の無いご意見をお寄せください。

事務局長 木村修二
(S44年卒)

